

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 143

事務事業名	健康教育事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	富永真由美	内線	140

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020101	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		健康づくりの推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	3	健康増進費
事業コード	020201	健康教育事業

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画	健康おおむら21計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	おおむね40歳以上65歳未満の市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	生活習慣病予防や健康づくりのために必要な知識を習得するとともに、健康づくりに関する意識の向上及び生活習慣改善と生活習慣病予防の推進を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	地域の公民館等において医師や管理栄養士及び保健師による健康づくりや生活習慣病予防に関する健康講座を実施する。		
事業期間	昭和 58 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	健康増進法、健康増進事業実施要領		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 健康講座回数	計画値	20	20	20	20	
		実績値	9	22	16		
	達成度	%	45.0%	110.0%	80.0%		
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 健康講座参加者数	計画値	2,250	1,890	1,890	1,180	
		実績値	732	900	1,180		
	達成度	%	32.5%	47.6%	62.4%		
	②	計画値					
実績値							
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	555	169	155	220	165	165	165	0
国庫支出金								
県支出金	368	111	103	145	109	109	109	
地方債								
その他								
一般財源	187	58	52	75	56	56	56	
② 人件費(千円)	5,206	4,002	3,016	4,751	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.62	0.52	0.42	0.63	普及啓発	普及啓発	普及啓発	
時間外勤務(時間)	19	36	27	85				
嘱託等人数(人)	0.13	0.00	0.00					
フルコスト(①+②千円)	5,761	4,171	3,171	4,971				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	地区ごとの健康課題にあった健康講座に対するニーズは少なく、市内全域を対象とした疾病ごとの健康講座の開催となった。
事業が抱える問題・課題等	地区ごとの講座依頼が少なく、地域の実情に応じた健康講座の開催は困難である。年代や性別等、健康講座の内容に合った対象のピックアップを検討していく必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	特定健康診査及び保健指導と連携し、生活習慣病予防の普及に努める。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	健康教育の趣旨に基づき、利用者負担を徴収することは不適切である。						

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	乳がん検診で30代のエコー検診の補助が開始され、若い頃からの検診の必要性をPRすることで、40代からのマンモグラフィ検診につなげていく。また、健康講座を開催するにあたって、内容・対象者に合わせた団体への働きかけを検討し企画する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	乳がん講座で30代のエコー検診PRに力を入れることで、若い年代からの意識付けになり40代からのマンモグラフィ検診受診へつながる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。